

主催事業新聞



発行：3月18日
Vol. 9

家族のつどい

ファミリーステイⅡ

～自然の家で家族の楽しいひとときを～

岐阜市少年自然の家では、平成二十七年一月三十一日(土)～二月一日(日)と二月七日(土)～八日(日)の二週にわたり、一泊二日の事業「ファミリーステイⅡ」を開催しました。一週目には十九家族六十二名、二週目には十八家族六十名の方が参加してくださいました。

今回は、一日目はクラフト「メモスタンド作り」と夜のレクリエーション、二日目は自然散策を行いました。親子で協力し合う姿や、他の家族と一緒に遊ぶ姿など、温かな雰囲気を感じることができました。



自然散策の様子。ソルを使って、大縄とびをしました。家族の息はピッタリ!

◆メモスタンドを作ろう!◆

最初の活動はクラフトで「メモスタンド」を作りました。

木の端材に、小さな丸い磁石を埋め込み、二つ合わせればメモをはさみこめるメモスタンドが出来あがります。「何を作ろうかな?」「どの形が一番いいかな?」と、悩みながらたくさんの方の端材の中から、好きな形を選んでいました。



お母さんと一緒にお話しながら作ったね!



材料選び!「どれにしようかな?」

磁石を打ち込む作業は所員が行いましたが、これも経験、自分で木づちを持ち、挑戦する子もいました。あとは、色を塗ったり、ドングリなどのいろいろな木の実を付けたりして、世界に一つだけのメモスタンドを作り上げていました。トラックや電車などの乗り物、動物やひな人形など、素敵な作品ばかりでした。



◆夜のレクリエーション◆

夜は参加家族が三チームに分かれて、三つのゲームを楽しみました。一つ目は「巨大パズル」。一家族一ピース、倒さないように積み上げて、見事、所員の顔が完成してしまいました。二つ目の「竹ころりリレー」は、半分に割れた長い竹を家族で持ち、チームでつないで木の実をゴールへ送るゲーム。隙間がでないよう、チームで一つになって木の実を送っていました。最後は「玉入れ」。高さの違う三つのカゴに、時間いっぱい、玉がいっぱいになるよう必死に投げていました。どのゲームも白熱し、大人も子どもも夢中になって、大盛り上がりでした。



鬼たいじ玉入れ! どのカゴにもいっぱい入れよう!



巨大パズル! 倒れないようにね!



竹ころりリレー! さあ竹をつないで!

◆自然散策◆

二日目は、自然散策。ファミリーパーク内に設置された様々なポイントを探りました。アゲハチョウの蛹やカマキリの卵を探すとポイントでは、色が周りと同化してわかりづらい中、目を凝らして探し見つけた時は「あつた」と大喜びでした。九つのマスにマツボックリを投げてビンゴを目指すゲームや、ソルを使って大縄跳びにチャレンジするゲームなど、相談したり息を合わせ取り組んだり、家族で協力する姿がたくさん見られました。二週目は雨の中の散策となり、寒く衣服も濡れて大変でしたが、最後まで歩き切り、笑顔を見せてくれる子どもたちもたくさんいました。



マツボックリを投げてビンゴチャレンジ!



アゲハのさなぎはどこかな?~?



雨でも平気!クチナシの実で色水遊び!



カマキリの卵はどこかな?~?

◆ファミリーステイⅡを終えて◆

活動を終えた家族からは「親子のきずながよりのっそう深まった」「メディアがない子どもとふれ合う時間ができてよかった」「昨年は毛布をたむのに苦労していた子が今年は一人でさつとやり終え成長を感じた」などの声を聞くことができ、充実した一泊二日を過ごしていただけたようでした。